

特集

酒田市合併20周年

平成17(2005)年11月1日、酒田・八幡・松山・平田の一市三町が合併し、新酒田市が誕生しました。

一人一人が豊かに、幸せに、安全・安心に暮らせる酒田を創ることを目指して。

酒田市は市民の皆さんとともに、これからも一步一步着実に歩んでいきます。

問 総務課総務係 ☎ 26-5700

20年間の出来事

平成20年(2008)

- 4月 ● 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構発足
- 5月 ● 出羽大橋新橋開通^②



平成17年(2005)

- 11月 ● 新酒田市誕生^①

平成18年(2006)

- 4月 ● 新南平田小学校開校(東陽小学校と南平田小学校が統合)
- 5月 ● 市民憲章、市の木・市の花・市の鳥を制定



2012 2011 2010 2009 2008 2007 2006 2005

平成22年(2010)

- 1月 ● 八幡タウンセンターオープン
- みなと市場オープン
- 4月 ● 酒田看護専門学校開校
- 鳥海八幡中学校開校(鳥海中学校と八幡中学校が統合)
- 松山保育園開園(朝日園、ひばり園、みどり園が統合)

平成23年(2011)

- 3月 ● 東日本大震災発生
- 4月 ● 酒田特別支援学校開校
- 新第一中学校開校(第一中学校と第五中学校が統合)
- 11月 ● 酒田港が日本海側拠点港に選定(リサイクル貨物部門)

平成24年(2012)

- 4月 ● 酒田光陵高等学校開校(酒田中央高校、酒田商業高校、酒田工業高校、酒田北高校が統合)
- 新第二中学校開校(第二中学校と平田中学校が統合)

平成21年(2009)

- 4月 ● 新八幡小学校開校(八幡小学校、大沢小学校、日向小学校が統合)
- 5月 ● 酒田まつり(山王祭)創始400年^③



平成28年(2016)

- 1月 ●市役所新庁舎開庁
- 4月 ●酒田北前横丁屋台村グランドオープン
- 9月 ●「鳥海山・飛島ジオパーク」が県内初の日本ジオパークに認定
●第36回全国豊かな海づくり大会―やまがた―開催。天皇皇后両陛下が酒田市へ行幸啓される⁷
- 12月 ●東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン・共生社会ホストタウンに登録



平成27年(2015)

- 1月 ●松山城址館オープン⁵
- 9月 ●酒田市長に丸山至氏が就任
- 10月 ●全国ねぎサミット開催⁶



平成25年(2013)

- 4月 ●新平田小学校開校(東平田小学校、中平田小学校、北平田小学校が統合)
- 5月 ●酒田医療センターがオープン

平成26年(2014)

- 4月 ●東部中学校開校(松山中学校と飛鳥中学校が統合)
●新亀ヶ崎小学校開校(亀城小学校と港南小学校が統合)
- 12月 ●本市・三川町・庄内町・遊佐町が庄内北部定住自立圏形成協定を締結⁴



2018

2017

2016

2015

2014

2013

平成30年(2018)

- 3月 ●余目酒田道路全線開通
- 4月 ●八幡病院、松山診療所、飛島診療所ほか3診療所が地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構へ移管統合
●新酒田南高等学校開校(天真学園高校と酒田南高校が統合)
●新八幡保育園開園(八幡保育園に市条保育園が統合)
●酒田市産業振興まちづくりセンター「サンロク」創設

平成29年(2017)

- 1月 ●酒田港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2016」を受賞
- 4月 ●新鳥海小学校開校(鳥海小学校と南遊佐小学校が統合)
●新松山小学校開校(地見興屋小学校、松山小学校、内郷小学校が統合)
●新平田保育園開園(平田保育園に檜橋保育園、仁助新田保育園が統合)
●酒田地区広域行政組合の消防署本署が船場町に移転
●中町にぎわい健康プラザオープン
●アメリカ合衆国オハイオ州デラウェア市と姉妹都市盟約締結⁸
●「北前船寄港地・船主集落」(7道県11市町で申請)が日本遺産に認定
- 6月 ●子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」開設
- 8月 ●酒田港に初の外国船籍の大型クルーズ船「コスタ・ネオロマンチカ」が入港⁹
- 10月 ●酒田市が「日本一女性が働きやすいまち」を目指す宣言を行う



令和2年(2020)

- 3月～5月 ●新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内全小中学校の臨時休校および公共施設163か所を臨時閉館。飲食店にも営業自粛を要請
- 12月 ●日本海沿岸東北自動車道開通(酒田みなとIC～遊佐比子IC)

令和3年(2021)

- 3月 ●山居倉庫が国指定史跡に指定 ⑫
- 4月 ●みなと保育園開園(浜田保育園と若竹保育園が統合)
●十里塚風力発電所が運転開始
- 6月 ●東京五輪聖火リレー(日和山公園～飯森山公園) ⑬
- 7月 ●マリーナ5清水屋が閉店
- 10月 ●旧割烹小幡を改修した交流観光拠点施設「小幡楼」オープン ⑭
- 11月 ●酒田地区広域行政組合の消防本部・消防署本署が大町に移転



平成31年・令和元年(2019)

- 7月 ●日向里かふえが日向コミュニティセンター内にオープン ⑩
- 8月 ●庄内～成田線のLCC運航開始
- 11月 ●黒森歌舞伎がポーランドで公演 ⑪



2025

2024

2023

2022

2021

2020

2019

令和6年(2024)

- 4月 ●酒田港が洋上風力発電における基地港湾に指定
- 5月 ●文化資料館光丘文庫オープン
- 7月 ●令和6年7月25日からの大雨災害発生 ⑮
- 10月 ●台湾台中市と観光友好交流の促進に関する協定締結

令和7年(2025)

- 3月 ●いろは蔵パークA館オープン ⑮
- 8月 ●船井総研ホールディングス主催「サステナブル・グロースカンパニーアワード2025」パブリックサービス賞受賞



令和4年(2022)

- 2月 ●飛島に光ファイバーケーブル敷設
- 4月 ●南平田小学校に田沢小学校が統合
- 7月 ●酒田駅前交流拠点「ミライニ」グランドオープン ⑭
- 9月 ●酒田市が日本海ヘルスケアネットに参加
●観光施設「SAKATANTO」オープン

令和5年(2023)

- 6月 ●移住交流拠点「TOCHiTO」グランドオープン
●岩手県西磐井郡平泉町と文化交流協定締結
- 8月 ●三重県度会郡南伊勢町と文化交流協定締結
- 9月 ●酒田市長に矢口明子氏が就任
- 10月 ●日本ご当地ラーメン総選挙で「酒田のラーメン」が日本一に ⑮



酒田でつながるひとの声

酒田で生まれ育ち、さまざまな分野や場所で活動する皆さんの声をお届けします。



阿部 麗華さん
(鶴岡市在住)

酒田市出身の20歳。小学生のころに地球温暖化に興味を持ち、鶴岡工業高等専門学校へ進学し有機化学を専攻。将来は研究員を目指している。

私にとっての酒田は、海や山などの自然が身近にあり、心が落ち着く場所です。いろは蔵パークができ、鶴岡の友人が酒田に来るようになってうれしい反面、小さい頃に遊びに行った中町周辺が寂しい状況になっているので、にぎわいが復活してほしいです。

私は進学で学校の寮に入り、酒田を離れたことで酒田の良さに気付きました。地元のために何かしたい、自分の研究を生かしたいと思っているので、将来は専門分野の企業に就職して知識を習得し、いずれは酒田にUターンしたいです。

私が30代になったときのことを考えると、子育てしやすい酒田になっていたらいいと思います。それに、酒田まつりの宵祭りのように、高校生が企画運営するイベントがもっと増えたらいいですね！いい経験になりますし、酒田に関わることで地元への思いが強まると思います。



遠田 裕己さん
(大沢地区在住)

平成27(2015)年に会社員から農家へ転職。現在は地域の農業の担い手として、山あい位置する大沢地区で米作りに携わっている。

県外へ進学した時期以外はずっと地元で暮らしているので、改めて「酒田の良さ」を考えたことがないのですが…食べ物がおいしくて、居心地がいいですね。それは豊かな自然と人の温かさが酒田にあるからだと思います。

酒田で普段通りに暮らす分には困ることはありませんが、昨年7月の大雨災害が起きたときは、行政の動きの遅さを感じました。これからどうなるのか、行政が何をしているのかが見えず不安だったので、そこは改善してほしいです。

これからの酒田は、やはり人口減少が進んでいるので、子育て対策にもっと力を入れてほしいですね。酒田の魅力である「食」を支えるお米を手に取りやすい価格で食べてもらえるように、農家への支援があったらいいと思います。



佐藤 史弥さん(左)・伊藤 早紀さん(右) (首都圏在住)

酒田市出身の30歳。首都圏から地元を盛り上げたいと思い、山形県出身者などが集うイベント「なんかヤマガタ」を令和7(2025)年から東京都内で企画運営している。



なんかヤマガタ
フェイスブック
Facebook



なんかヤマガタ
インスタグラム
Instagram

酒田を離れて気付いたのは、酒田は一見何もないように見えるけれど、食や住環境が豊かなまちだということ、そして私たちにとって帰る場所だということ。これは私たちが外に出て気付いたことで、中にいると気づきづらいことかもしれません。だからこそ、もっと酒田の魅力を外に発信できれば、酒田で暮らす若い人たちも酒田を魅力的なまちとして思えるようになるかもしれません。

これからの酒田は、住んでいる人が楽しい・過

ごしやすいと思えるまちであってほしいですね。人口減少を当たり前だと思って見過ごしたくないし、酒田で子育てをしている友人も多いので“元気な酒田”で子どもたちが成長してくれたらと思います。「なんかヤマガタ」は「離れていても山形と『なんか』関わり続けたい」という思いを込めた組織です。面白いイベントを今後も企画するので、楽しみにしててください！